

関常幸 議会報告

第22号
2011.4

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐2015番地
TEL 025-777-2245

東日本大震災にお見舞い申し上げます



3/16 写 宮城県石巻市
津波で市街地に流された漁船や車の山!

3月11日午後2時46分、M9.0の地震は、一瞬にして人々を地獄へと陥れた。

テレビの画面は、日本沈没の映画を思わせるようだ。押し寄せる津波は、生きた怪物のように家、車、船を飲み込み市街地を濁流の下にした。

そして、追い打ちをかけるように、福島第一原発6号機全ての原子炉で冷却機能がマヒし、放射能が漏れ、国力を挙げて放射能を抑え込もうとしているが、いまだ予断を許さない状況だ。

平成7年阪神淡路、16年の中越、19年の中越沖地震の教訓が活かされているのか。

死者、不明者、避難者数の報道の数値の大きさに声を失う。4月から新学期が始まる。真新しいランドセルの新一年生の姿はそこには無い。学校も何もかも津波に持って行かれた。

被災の陣頭指揮を執る役場、市役所が機能を発揮できなく、いまだに被災地の被害状況が把握できないでいる。今、日本中で被災地を支援する動きが広がっている。わが市でも、井口市長を先頭にできる事は何でもやろうと執行部と議会は動いた。

今、私たちが注意しなければならないことは、放射能の風評被害や過敏な自粛による地域経済の縮小です。

私の叔父も宮城県に二人おり、連絡が途絶えた5日間は、胸が痛くなる日々でした。幸い津波の難は逃れた。津波跡はこの世の光景ではないそうだ。国民一人一人が手を差し伸べよう。



3/19 写 宮城県東松島市
市街地を津波が襲う一面の水!

3月定例議会～23年度一般会計予算は298億円(前年より6千万円減)

三月議会は、予算議会とも言われ三月一日から十八日までの十八日間がスタートする。二月十六日に、大原運動公園・野球場建設問題で開催された議会全員協議会の余韻が覚めない中での開催!!!

● 議会初日は、市長、施政方針の表明、各委員長の委員会報告。22年度一般会計や特別会計の補正予算審議。2億9千万円の補正予算は認定。23年度の7特別会計は、大綱質疑の後それぞれの委員会に付託される。

● 一般質問で野球場建設問題を取り上げた議員は4名。N議員の一貫した野球場建設反対の主張は、自身の進退問題まで取り出し、市長からいさめられる場面があった。

今日のN議員の一般質問「市長は市民への説明責任を果たせ」は、大部分の議員は、市長の回答に納得し、最後にN議員も了解したようだが!

● 予算審議は四日間行われ一般会計予算に共産党議員団が反対するが賛成多数で可決する。

● 議会最終日、国保、介護、後期高齢者、水道の各特別会計予算に共産党議員団は反対するが可決。

「暴力追放の宣言を求める決議」の発議は全会一致で可決する。

一般質問(3月10日)

●平成の開国「TPP」について

菅首相は、昨年10月に唐突に臨時国会の所信表明で「平成の開国」と呼びTPP参加を表明した。

すべての関税をゼロにする環太平洋経済連携協定・TPPについては、昨年12月の定例議会で「TPP交渉参加反対に関する請願」を全会一致で可決しており、全国の県、市町村議会でも同様の動きだ。

辞任した前原外務大臣(前)は、「GDPに占める割合が1.5%の農業を守るために、ほかの産業を犠牲にしてよいのか」という発言があった。しかし、GDPに占める農業の割合は、イギリスは0.8%、アメリカは1.1%、フランスは1.8%と主だった国も同じような水準で、多くの国では日本よりも手厚い農業保護が行われている。農業はいつも自由貿易に反対し国益にマイナスだ」といわんばかりの前原外務大臣(前)の話には怒り心頭だ。

コメは78.8%の関税で守られており、確かにコメは高いが、農産物の平均関税率は11.7%、EUは19.5%、アメリカは5.5%、韓国は62.2%と主要国では、米国に次いで関税率は低い。このように日本は世界一の農産物・食料の輸入国だ。

TPPは農業問題だけでなく、その範囲は、労働・金融・保険・通信等24分野にもおよぶ。

TPPに参加すれば、例えば医療分野では、保険がきかない高額な自由診療と保険診療を組み合わせる「混合診療」が全面解禁され、今の公的医療保険が縮小する。そうすれば誰もが等しく高度の医療を受けられなく「治療に格差」「命に格差」を生むことになる。

医療の自由化は、病院は利益の大きい自由診

療を増やすので、低所得者は病院に行けなくなる。そして地方から病院の撤退などが発生するので、医師会は12月にいち早く懸念を表明した。

TPPは、わが国の枠組みそのものをかえるものだ。まさに我が国の長期的な国家戦略が問われており、国家存立の問題と思うが見解を伺う。

<市長答弁>

農業が衰退する国で栄えた国は無い。食料安全保障や医療・金融・投資等の国家戦略が無い中、今の状態での、TPPへの参加には反対である。

●観光行政を問う

当市は、日本一のコシヒカリというブランドを持ち、八海山、巻機山の自然そして、日本を代表するスキー場を有し、東京からの交通の便もいい。なのに誘客数は年々減少している。

スキー観光客は、最盛期の3分1の100万人に減少し、イベント、産業観光等が善戦し、どうにか300万人をキープしている。

食(コシヒカリ、八海山)、四季の自然、山岳、史跡、まつり、スキー場、交通等々の「資源」は他地域に劣るものではない。他地域に誇れる、食、農、学、雪、遊、文化、医を兼ね備えており、それらが誘客に活かされていないのではないかと。

観光客誘客増のために、今までの宣伝、組織体制等を見直し、再構築を考える必要があると思うが市長の見解を伺う。

そして、観光客が減少している中、新設なる大原運動公園は交流人口の増、大会等で宿泊が増えるという視点でも期待されるが考えを伺う。

<市長答弁>

18年度に市観光協会は合併したが、宣伝も含め十分機能が発揮されていないが協会に期待する。

テニスで利用が24千人。さらにサッカーや野球場で施設が充実するので、宿泊増に期待している。

トピックス

2/6 自民党大和支部総会



2/8 街づくり談義
ワークショップ

2/14 白山神社祈年祭
子どもサンヨ!



2/20 撒与講中餅つくり

3月議会概要(1日~18日)

★ 23年度市政方針



- ① **雇用景気**～引き続き緊急雇用特別基金事業と住宅リフォーム事業により、雇用および建築関連事業者の事業拡大の確保を図る。
- ② **医療・福祉**～魚沼基幹病院が23年度に工事が着工されるのに伴い、市立病院（大和、六日町、城内）の施設整備基本計画を策定。浦佐保育園跡は、障がいを持った人の就労支援および生活介護の施設として開設する。
- ③ **子育て**～医療費4歳児まで全額助成。大崎保育園の大規模改修を行う。
- ④ **育・文化・スポーツ**～野球場・多目的グラウンドは補正予算で実施設計を行う。図書館は六日町駅前ララ内に設置で実施設計を行う。
- ⑤ **産業**～市内産の杉を利用した家づくりに助成。今泉博物館を市の観光交流拠点施設に整備する。
- ⑥ **コミュニティ活動**～可能な地区から公民館事業を移行した自主的な活動の推進。
- ⑦ **財政健全化**～職員および経費の削減、市税の収納確保、遊休資産の売却。

<平成23年度主要施策～予算は298億8千5百万円(昨年より6千万円の減)>

●雇用景気対策	・雇用創出（68人）事業	186百万円
	・個人住宅リフォーム事業	50百万円
●医療福祉の充実	・予防（子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌）対策	163百万円
	・魚沼基幹病院建設に伴い地域医療再編のため大和、六日町病院の調査に	22百万円
●子育て環境の充実	・こども（4歳児まで無料）妊産婦医療費助成	117百万円
	・子ども手当支給事業	1355百万円
	・六日町認定こども園整備補助金	322百万円
●教育・文化・スポーツ環境の充実	・特別支援教育事業	66百万円
	・子ども、若者育成支援	19百万円
●産業の振興	・中小企業金融制度（資金預託金等）事業	267百万円
	・アンテナショップ設置費等	7百万円
●コミュニティ活動の推進	・市内旧村の12地区に活動費	58百万円
●財政健全化の推進	・職員数の減、市債発行の抑制	△619百万円

<平成23年度主要な投資事業>

●保育園、小中学校、給食センター、市民会館、塩沢公民館改修事業	597百万円
●道路新設・補修、消融雪施設、除雪機械整備等事業	1153百万円
●大原運動公園（テニス）、体育施設整備（浦佐・二日町等）事業	97百万円
●消防庁舎改築事業、防災広場整備事業	670百万円

3/2 裸押合大祭
最高幹部ローソク撮影



3/12 「山の幸十二講祭」
被災地の復興を祈る

3/24 浦佐小学校卒業式



かわら版(ミニ情報)

★ 沖縄へ行政視察(2月3日~5日)

今回の沖縄行は私が強く要望したもので、特に沖縄の基地問題をこの肌で感じ見てきたかった。新潟にいと私たちは、沖縄での基地問題は他人事のような。そして、北朝鮮の脅威、ロシアとの北方四島、韓国の竹島、中国との尖閣諸島と外交問題は、私たちが安心して暮らすために最重要課題である。しかし、それらの国境問題も揺らいでおり、アメリカの軍事力・沖縄の基地無くして、残念ながら日本は対抗できないことは明白の理である。だからと言って、沖縄の皆さんの犠牲の上に立っての、平和でいいのであろうか？ 絶対にいいはずがありません。沖縄の米軍基地問題は、私たちの問題だと強く思った。



米軍基地予定「辺野古海岸」



2時間の予定が3時間にもおよぶ

● 読谷村 (人口4万人~毎年増加)

1945年4月1日10万発の砲弾をうち午前8時30分18万人の米軍が沖縄(読谷村)に上陸する。95%が米軍基地、1952年80%、1970年72%、2000年45%、現在も34%が米軍基地という。村民が一体となり国に米軍基地の撤退を訴えつづけている。

● 大宜味村

健康長寿の村、人口3,300人の村におじゃまする。挨拶もそこに、「公民館にお年寄りが集まっているから」と案内される**長寿の秘訣**は、皆さんとお会いして納得する。

① ゆったりリズムとナンクルナイサー(なんとかなるさ)、イチャリパチョーデ(初めて会う人でも兄弟同様親しく)のおおらかな気質。

② 生きている限り現役という意識がすごく強い。畑仕事をしたり、村の伝統産業の芭蕉布の糸紬をしたり、何らかの活動、労働、運動その他の村の行事やボランティア活動をする。



皆さんと一緒に踊りだす

★ 3月3日裸押合大祭翌日(4日)

午前中後片付けをし、13時より浦佐多門青年団総会が開催される。山口団長から湯本副団長に、団長の法被が引き継がれ、湯本団長が誕生する。最高幹部からそれぞれ次期幹部に重い重い青年団の法被が引き継がれる。

16時30分、青年団員が屋根に上がり、前最高幹部に「感謝の餅まき」を行う。雪の降る中、素足ワイシャツ姿の前最高幹部は、「撒けよ撒けよ」と声を張り上げ、目に涙を浮かべてた。



屋根の団員、ワイシャツの前最高幹部

★ 浦佐の歴史が一幕を閉じる！！

浦佐幼稚園 3/26 に閉園式(写真上)が、浦佐保育園は3/28(写真下)に閉園式が行われる。



園児全員で歌う



市長に保育園のカギを返納する

未曽有の大災害に一人一人できる支援を致しましょう。福島原発の一日でも早い終息を祈っております。



編集後記
三月二十五日、初めての外孫誕生です。名前は「小雪」。